

第7回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成28年3月9日（水）
開 会：10時00分
閉 会：11時50分
2. 開催場所 庄原市役所 第1委員会室
3. 出席委員 荒木和美 委員（委員長） ・ 加藤広行 委員（副委員長）
積山豊通 委員 ・ 山根英徳 委員 ・ 齋藤万由美 委員
山岡弥香 委員 ・ 小島由佳利 委員
4. 欠席委員 なし
5. 出席職員 農業振興課長 平岡章吾
市民生活課長 清水勇人
企画課長 兼森博夫
企画課政策推進係長 中田博章
企画課政策推進係 横山敬之
6. 傍聴者 2名
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第 7 回庄原市行政評価委員会次第

平成 28 年 3 月 9 日（水）10：00 から
庄原市役所 5 階 第 1 委員会室

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 総括意見の集約
 - (1) 敬老会事業補助金交付事業
 - (2) 飲料水供給施設整備費補助金交付事業
4. 評価意見の検討
 - (1) がんばる農業支援事業補助金交付事業
 - (2) しょうばら国際交流協会負担金事業
5. 平成 27 年度の行政評価の総括について
 - (1) 評価結果の確認
 - (2) 委員会の運営について
6. その他
7. 閉 会

会 議 経 過

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

今日は第7回の委員会となり、本年度の区切りになります。

本日は今年度の評価結果の一覧を添付していますので、振り返って確認もしたいと思います。

本日もよろしくお願いします。

3. 総括意見の集約

(1) 敬老会事業補助金交付事業

総括意見

評価：その他の見直し

本事業は、高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、高齢者の生きがいづくり、地域の見守りなどに資するものである。

一方、参加率が低いことや実施主体の負担が大きいなどの課題もあり、持続可能で真に地域福祉の増進を促す事業となるよう、次の事項について見直しを検討されたい。

- ① 補助金の単価については、現行どおりが適当と考える。
- ② 地域の福祉力を高め、介護保険制度の変更に対応しうる制度とすること。
 - ・ 高齢者の活動機会の確保、社会参加を促す別の手法への移行も検討すること。
 - ・ 自治振興区交付金に統合し、地域活動と一体的な展開も検討されたい。

(2) 飲料水供給施設整備費補助金交付事業

総括意見

評価：現行どおり

「現行どおり」の評価とするが、生活環境の向上に直結する事業であり、現行の11項目の検査のみでは妊婦や乳幼児等への影響も含め不安を感じる場合もある。

このため、健康関連項目(31項目)については、担当課において人体への影響について十分に情報収集等を行い、必要に応じて検査項目に加えることを検討されたい。

4. 評価意見の検討

(1) がんばる農業支援事業補助金交付事業

【①現行どおり】の意見

評価シート記載意見

本市の基幹産業として位置付けられている農業は厳しい経営状況にあり、市内の農業者の営農意欲を維持向上させる施策として現行どおり継続することが必要と考えます。

委 員：販売額の確認については、交付要綱第4条で本人申告となっているが、領収書等の会計書類で確認ができるよう改善すべきではないか。

【②現行どおり】の意見

評価シート記載意見

農業が基幹産業の本市での多様な担い手の育成のための重要な事業であり、所管課評価の現行どおりで良いと思います。

委員：もう少し手厚い支援があればと思うが、市の財政状況を勘案する中で現行程度の補助が適切と考える。

【③現行どおり】の意見

評価シート記載意見

一般農業者の方々が長期にわたり安定した経営をするためには、必要な支援だと思う。

申請者が増加傾向にあるなら、予算の増額・申請期間など内容の見直しも必要なのではないか。

委員：評価シート記載のとおり。

【④現行どおり】の意見

評価シート記載意見

農業の支援は当地域にとって重要な取組みであり、きめ細やかな対応が必要だと感じます。市費の対応が必要であつても現行どおり以上の対応が求められると思います。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑤拡充】の意見

評価シート記載意見

中山間地域の農林業の果たす役割は大きく、大規模農業にまで至らない地域などで、定年後の農林業就労促進も含め、国県の要綱に至らない部分を補う役割として必要であると考えます。

今後、元気で農林業に携わる高齢者を育てるため、さらに内容を充実する必要があると考えます。

委員：元気な高齢者が所得を上げていただけるよう幅広い年齢層が活用できるよう配慮いただきたい。

【⑥拡充】の意見

評価シート記載意見

実績、成果をみると効果が高い事業だと思います。農業が継続でき、所得アップできるよう補助を続けてほしいと思います。

毎年申請者が増加し予算が不足する事態が発生しているとのことですが、出来る限り申請を通してほしいと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

委員長：予算が不足し、不採択となることがあるのか。

事務局：補正予算より極力対応している。なお、採択審査にあたっては市職員、農協職員等で構成する審査会で審査を行っている。

【⑦その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

厳しい中での農業経営を手助けする事業であると思います。毎年申請数が増えているのであれば、予算の増額を

してでも頑張っている農業者を支援していただきたい。

委員：評価シート記載のとおり。

－総括意見－

委員長：総括意見としては、「現行どおり」とする。

委員長：要点としては、

- ① 農業は庄原市の基幹産業であり取り組むべきで、該当者には補正対応を含め、行き渡るよう配慮願いたい。
- ② 高齢者、帰郷者が活躍し、地域や農業が元気になるよう国・県の制度と調整し、きめ細やかな対応をしてほしい。
- ③ 重要な事業であるからこそ、現状把握、成果を丁寧に分析・整理すること。

(2) しょうばら国際交流協会負担金事業

事務局：追加資料として日本語教室の延べ参加人数及び国別参加者数の資料を提出させていただきます。その他として、事務局員の配置について、平成10年1月29日に山内町で中国人就労者による小学生の殺傷事件が発生し、再発防止のため外国人がいつでも相談が可能な窓口が重要であると認識している。

委員：過去3年程度の相談件数は何件か。

事務局：把握していない。

【①現行どおり】の意見

評価シート記載意見

市民意見にもあるように必要な事業と考えますが、多くの他の市と同様に市の中に協会事務局を設置し、行政と一層連携することにより事業効果を図ることが必要と考えます。

委員：行政関係部局との連携なくして、相談員だけでは解決できない課題が多いのではないか。やはり事務局は市役所市民生活課内に設置すべきと思う。

【②現行どおり】の意見

評価シート記載意見

これからの社会は、インターネットによる情報化と同時に人口減少による外国人労働者の受け入れと、外国人観光客の増加に伴う国際化は益々進み、同時に市民の海外旅行も増加すると考えます。

従って、国際交流機関によるホームステイなど国際交流や外国人のコミュニケーションの場を設けるなどの役割は、大きくなると考え当面現行通り、将来的には拡大も必要になると考えます。

委員：評価シート記載のとおり。

【③現行どおり】の意見

評価シート記載意見

しょうばら国際交流協会の活動を推進するために、会員・団体に加え、外国籍の方々が就労されている企業等にも協力・出資していただき、活動を市民に周知し、多くの方に関心を持っていただくことで、さらに充実した国際

交流を促進していただきたい。

委員：資料によると日本語教室が100回程度開催されており、ボランティア運営では負担が大きいのではないかと思いますので、もっと企業等スポンサーを募って運営してはどうか。

【④縮小】の意見

評価シート記載意見

国際交流は、庄原で暮らす外国人の支援、交流等に、とても意義のある事業だと思いますが、公民館、地域活動等との協働等を含めて、現在の業務内容を精査して、少しでも経費の縮減に努めてもらいたいと思います。

委員：事業補助というより、運営補助のような印象を受けた。縮小としているが、その他の見直しに近い内容で評価を行っている。

【⑤その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

- ・国際交流の意義は認められるものの、協会の運営や事業の実施について、再検討を要すると思います。
- ・日本語教室についても対象者の内容は不明ですが、検討する必要があると思います。
- ・就労の場合は、受け入れ企業での体制ができているはずです。
- ・個人会員や団体会員も多いのであるから、もっと民間レベルでの交流を促進する必要があると思います。
- ・青少年海外研修事業助成金以外は、経費削減に努めるべきだと思います。

委員：日本語教室の開催場所が旧市内だけであり参加しやすい体制とはいえないのではないかと。
また、就労に絡む相談についても県等にも相談窓口は設置されているはずであり、もっと民間との協働を図り経費を削減すべきである。

【⑥その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

国際交流は推進すべき事業だと思います。活動内容を広め、他の団体、他の事業と連携し（学校行事・敬老会・自治会行事など）子供達や高齢の方々との交流の場を作り、みんなで関わっていける事業になればと思います。
また、協会運営には人件費が掛かるのは当然ですが、事業費を上回っているのは疑問です。

委員：評価シート記載のとおり。

【⑦その他の見直し】の意見

評価シート記載意見

結婚や雇用により庄原に在住する外国人に日本語を学ぶ機会があることはとても喜ばしいことです。ただ、中央1ヶ所だけでは十分ではないように思います。地域に広がるのが望ましい。
特に、小中学生への日本語教育はとても大切で教育委員会とも協力しながら行っていただきたい。

委員：評価シート記載のとおり。

ーその他の意見ー

委員：行事をボランティアに支えられている団体であり、これらの事業費が計上されていないため人件費の比率が高くなっているという部分もあると思う。

委員：事業名称が事業の趣旨とまち合わないのではないか。例えば外国人生活支援等国際交流強化事業等なら相談事業等のサポートも表せるのではないか。

委員：平成8年から約20年間実施され、国際交流の輪が広がったと感じられるか。

委員：当初、ホームステイ等の交流は活発であったと思う。

－総括意見－

委員長：総括意見としては、「その他の見直し」とする。

委員長：要点としては、

- ① 日本語教室、相談業務、その他の支援業務は意義のある事業である。相談業務について、ノウハウが蓄積され、以後の業務にいかされるよう配慮されたい。
- ② 事業開始から長期間経過していることもあり、事務局体制、会員、企業と協会との関係や会員構成を含め1つ1つの事業内容を点検し見直しを行う時期にきている。
- ③ 一住民を支えるという観点から教育、人権等側面からのつながりも重要であり、他の施策との連携により支援を行う必要がある。
- ④ 大事な事業であるからこそ、わかりやすい事業名とするよう配慮いただきたい。

5. 平成27年度の行政評価の総括について

(1) 評価結果の確認

－事務局より資料説明－

(2) 委員会の運営について

委員：最終的には優先順位と長い期間見直しがされていない事業が重要と感じた。

委員：障害者福祉事業所通所助成金交付事業のように極端に対象者、影響事業費が少ない事業は評価事業とせず、行政執行者の裁量で決定すべきではないか。

委員：行政評価の制度は他市の事例を参考にしたのか。

事務局：それぞれの自治体によって手法が異なるため、本市独自の制度を構築した。

委員：行政評価の実施について、議会からの意見はあったか。

事務局：議会には行政評価制度の構築時に報告しており、議会では委員会で所管事業を審査しているが、参考意見として多様な視点から意見を伺うため実施する旨を説明している。

委員：事業の成果指標について、指標の設定が不十分である。真に成果が計れるよう様式の見直し充実や指標の設定方法について工夫を行う必要がある。

委員：今後は、評価対象事業件数を絞り込んでも、実地調査を行うなど、より深い審議をしてはどうか。

委員：事務整理の関係もあると思うが、開催時期をもう少し早い時期にした方がいいのではないか。

委員：会議時間は、現行どおり2時間以内が適当と感じた。

委員：プラモニの意見募集がもう少し簡単な手続き、例えば地デジのリモコンでの回答などで、できるのであれば検討いただきたい。

6. その他

委員長：今回の評価事業にかかる総括意見は、委員会は開催せず委員長と事務局で案を調整し、電子メールにより各委員意見を伺うこととなるので、よろしく願いしたい。

以上で平成 27 年度の庄原市行政評価委員会を終了する。

7. 閉 会